

平成 30 年度事業計画

公益社団法人 日本聴導犬推進協会

事業期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

事業拠点：埼玉県ふじみ野市亀久保 2201

役員：理事 9 名 監事 1 名 理事会：4 回開催 総会：2 回開催

事業担当職員：7 名

公益社団法人として本格的な事業開始年度となる。公益法人として事業を実施していくにあたり、財政状況を安定させると共に、会員と寄付を獲得できるように広報活動並びに企業との連携強化を図る。

1. 聴導犬の普及・啓発に関する事業

(1) 聴導犬の講演及びデモンストレーション

各種イベント・学校関係・団体研修の受入れ等を 100 件前後行う。

(2) インターネット系普及活動

SNS での告知内容を充実させると共に、ホームページでの情報公開を積極的に行い、聴導犬の啓発活動に努める。

(3) マスコミ関係の取材

取材内容に沿った対応を行い、聴導犬の啓発活動に努める。

2. 聴導犬の育成に関する事業

(1) 聴導犬の育成

事業計画の変更で昨年度認定試験を受験できなかったペア一の試験を 8 月に実施できるように合同訓練を進める。また、引退予定の聴導犬の代替えとして合同訓練を実施。年度末までには認定試験を受験できるように進めていく。今年度は、合計 2 頭の候補犬を聴導犬として認定試験を受験させ合格させる。

(2) 候補犬の導入

3 頭の候補犬を導入予定（成犬・子犬問わず）提携 16 か所に対し、候補犬導入希望を伝え、状況によっては評価を実施する。遠方は、ビデオ判定できるように協力要請を行う。また、他の補助犬事業者のキャリアチェンジ犬を譲渡してもらえるように提携先に打診する。また、広報活動用の候補犬も提携先及び他の補助犬事業者から 1 頭導入する。

(3) 希望者相談・希望者対応

聴導犬の希望者を積極的に募集すると共に、問い合わせや相談があった際は、順次対応できるように調整する。また、相談継続中の希望者に関しては、状況の確認を行いながら調整を行う。

3. 聴導犬の貸与・再訓練に関する事業

(1) 聴導犬の貸与

継続貸与 3 頭。新規貸与 2 頭。

(2) ユーザーフォロー

引退時期の決定や生活状況の変化を確認しながら、必要なフォローを行う。

前年度認定 1 頭及び新規 2 頭に対しては、密に連絡を取りながらフォローの回

数を増やす。

4. 聴導犬訓練士の育成及び認定に関する事業

(1) 高校の授業協力

都内高校ペットコースに対し、カリキュラムを組み聴導犬の訓練に関する授業指導と手話に関する指導を実施。文化祭での発表でデモンストレーションを行う。手話に関しては、手話検定を受験し、受講者が合格できるように指導する。

(2) 研修生

本年度は、対象の研修生が居ないため訓練士の育成は行わない。次年度の募集は11月頃から開始し、2～3名の入所を決定する。

(3) 訓練士の育成

現職員の訓練技術向上のため、月1回外部講師による指導を受けると共に、各種セミナー等に参加し、必要な知識と技術を習得できるようにする。

5. 一般への引退犬・キャリアチェンジ譲渡事業

(1) 候補犬からの譲渡

候補犬から2頭

(2) 引退犬からの譲渡

なし

6. オリジナルグッズの製造販売及び委託販売

(1) オリジナルグッズの製造販売

聴導犬の啓発活動及び育成資金の獲得を目的に、オリジナルグッズを製造し、イベント会場やインターネット等で販売する。

(2) 委託販売

聴導犬の啓発活動及び育成資金の獲得を目的に、その趣旨に賛同した個人及び企業と委託販売契約を締結する。

7. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 会員獲得

会員を獲得するために、各企業と連携し様々なシステム等を利用して獲得を目指す。

(2) 街頭募金活動の実施

聴導犬の啓発活動と育成資金を獲得するために鉄道会社と連携して年間40回の街頭募金活動を行う。

(3) 募金箱の設置

年間150か所の設置場所を確保し、10月に回収を行う。

(4) 企業提携

聴導犬の啓発活動と育成資金を獲得することを目的に、寄付システム及び募金システムを導入している企業・団体と提携し、寄付金の獲得に努める。

(5) 企業C S R

企業のC S R活動への協力を積極的に行い、啓発活動の促進や寄付の獲得をはかる。

(6) 寄付付き自動販売機

聴導犬の育成資金獲得のため、コカ・コーラ、サントリー、西武商事の3社と連

携し、全国 14 か所設置。不定期設置 6 か所。新規設置個所を 5 か所増やす。